011064 左大腿頚部骨折人工骨頭置換術

ステップ名称		ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	ステップ5	ステップ6	ステップ7
		1日前	基準日			1日後	2日後～4日後	5日後～6日後	7日後～14日後	15日後～21日後
			術前	術中	術後					
到達目標		手術に対する心身の準備ができる		合併症なく退室できる	合併症なく経過する		創痛コントロールができる	介助で車いすに移乗ができる	車いすでの生活が安全に送れる	回復期リハビリ病棟への転棟ができる
							脱臼予防肢位が保てる	創痛がコントロールできる		
								脱臼予防肢位が保てる		
処置	文章	弾性ストッキングのサイズを測ります	手術室へはベッドで行きます		酸素マスク、心電図モニターなどをつけます	心電図モニターをはずします	2日後におしっこの管を抜きます	適宜、傷の確認をします	適宜、傷の確認をします	急性期病棟から退院・転院または転棟します
		弾性ストッキングを着用します		手術室で点滴やおしっこの管などが入ります	呼吸が安定すれば酸素マスクをはずします	適宜、傷の確認をします	適宜、傷の確認をします			
		リハビリテーション科の診察があります			心電図モニターをつけます	マッサージ機は動けるようになれば外します				
		洗腸をします			マッサージ機をつけます	手術部位の管を抜きます				
		手術する側にしるしをつけます								
		手術する側のしるしを確認します								
検査				手術中にレントゲンを撮ります	血液検査があります	朝食前採血があります			レントゲンをとります	
									7日後、14日後に朝食前採血があります	
体温・呼吸・循環	文章	入院時に体温、脈拍などをはかります	手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります	10時ごろに体温、脈拍などをはかります
		入院時に身長、体重を測ります								
注射				手術室で点滴があります	持続点滴中です 抗菌薬の点滴を行ないます	終了後点滴を抜きます 抗菌薬の点滴を行います				
投薬		持参薬があればお知らせください	指示薬があれば午前6時に少量の水で指示薬を服用します			朝から鎮痛剤を6日間服用します				
		抗血栓薬以外の内服薬は21時までに服用します								
清潔・排泄		シャワー又は全身清拭、洗髪、手浴、足浴 爪切りをします	手術開始30分前に排尿を済ませます			身体を拭きます 陰部を洗います	陰部を洗います	5日後に創部がフィルム剤になればシャワー浴ができます	7日後、9日後、12日後にシャワー又は身体を拭きます	退院後、入浴できます
		排便を確認します					2日後におしっこの管を抜いた後、自尿の確認をします			
食事		夕食後から絶食です お茶・お水は飲めます	朝から絶食です 朝7時以降水分は取れません		帰室6時間後に指示で飲水ができます	昼から食事が始まります				退院後、制限はありません
活動・安静度		ベッド上で安静にします			ベッド上安静です(外転位保持) 外転枕を使用します	ベッドアップ90度まで可能です	外転枕を使用します	外転枕を使用します	外転枕を使用します	退院後、脱臼肢位をとらないよう動作に注意します
						外転枕を使用します			術後14日以降ご自身で体位交換が可能になります	
						手術部位の管が抜ければ、車いすで移動ができます			抜糸後外転枕を外します	
教育・指導・説明・リハビリ		主治医から手術について説明があります		家族の方は手術待合室でお待ちください	家族の方に手術結果ついて説明があります		2日後に理学療法士・作業療法士から脱臼肢位について説明があります			
		薬剤師から薬について説明があります			脱臼肢位の説明をします					
		看護師から手術について説明があります			外転枕使用による看護師介助の体位交換について説明があります					
		術後の脱臼予防について説明があります								
		特別な栄養管理の必要性（有）								
書類		入院診療計画書を渡します								
		手術同意書　麻酔同意書　輸血同意書を看護師詰所に提出してください								
手術										